

教 科	科 目 名	単位数	学年	学科またはコース	履 修
農 業	農業測量	3	2	食料環境科（環境系統）	選 択

科目のねらい	①測量に必要な知識と技術を習得する。 ②測定値の処理と測定機器と特質を理解し、扱うことができる。 ③各種事業に応用する能力と態度を身に付ける。				
使用教材など	教科書「農業測量」（実教出版）				

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一学期	4	27	測量を学ぶ 第1章 測量とその種類	◆ 何のために測量を学ぶのか、その心構えや歴史について理解する。
	5		1 測量のわけかた	◆ 骨組みから細部への測量など、測量作業の手順を理解する。
	6		2 測量のすすめかた	◆ 平板測量に必要な道具を理解する。
	7		第2章 平板測量	◆ 整準・致心・定位を理解し、実践する。
	7		1 平板測量の器具 2 平板のすえつけ 3 平板測量の方法 5 面積の算定	◆ 面積計算と誤差修正ができるようにする。
二学期	8	44	第3章 水準測量	◆ レベルのすえつけと、レベルの種類を理解する。
	9		1 水準測量の器械・器具	◆ 誤差の種類と原因および対策が分かる。
	10		2 水準測量の方法	◆ 水準測量の測定方法と誤差調整が出来るように理解する。
	11		3 測量の誤差	
	12		4 水準測量の誤差	
三学期	1	25	第4章 トラバース測量	◆ トータルステーションの取り扱いと作業手順を理解し、トータルステーションによって得た情報を図面に起こすことができるようにする。
	2		1 トータルステーション	
	3		第5章 地理空間情報	

観点	a 関心・意欲態度	b 思考・判断・表現	c 技能	d 知識・理解
観 点 の 趣 旨	測量に対して関心を持ち、得られた情報利用について疑問を自ら見出すことができる。	測量方法に対する疑問を常に持ち、自ら解決しようとする姿勢が見られる。	各種測量技術を習得し、高い精度で測量することができる。	測量に関する幅広い知識を身に付け、得た情報を処理できる。
評 価 方 法 主 たる	授業態度 ノート・プリント（記述点検）	行動の観察	平板測量・水準測量・トータルステーション測量・ドローン操作	定期試験 小テスト

上記観点に基づき、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	1年に5回実施。普段の授業や課題に集中して取り組み復習して下さい。	70点
②ノート・プリント提出	授業中の板書を丁寧な字できちんとノートにとっていること。また、配布されたプリントを丁寧にまとめていること。これらを、定期テスト毎に点検するので、期限まで提出すること。	15点
③実習・授業態度	授業中に興味をもって聞き、しっかりノートを取ること。また、実習時は実習着を正しく着用し、集中して取り組むこと。授業中に質問し理解しているか確認するので答えられること。	15点